

# 課題に向かって、いきいきと活動する 体育授業、体育的活動の実践を目指して

## 埼玉県川口市立元郷小学校

全校児童数	601名(男子287名 女子314名)
全クラス数	23クラス(内特別支援学級5クラス)
教職員数	36名(内体育専科1名)
地域のスポーツ指導者の活用(年間延べ人数)	50名

### Plan…取組時の課題と目的

#### 1 取組時の課題

本校では、平成26年度、27年度に体力課題解決研究指定校として、運動好きな児童の育成と児童の体力の向上を目指して研究を進めてきた。28年度からは、研究の成果を持続していくことと、運動好きな児童をさらに多くしていくことを課題とした。また、新体力テスト結果から数値の低かった「ボール投げ」と「握力」を体力的な課題とした。

#### 2 取組の目的

- ① 平成26年度、27年度までの体力課題解決研究で培った、体育科と体育的活動の実践を継続、さらに改善していくこと。
- ② 運動好きな児童の育成とそれに伴う体力の向上を目指すこと。
- ③ 新体力テストにおける「ボール投げ」と「握力」の数値を上げること。

### Do…取組の内容

#### 1 体育授業のモデル(元小スタイル)の実施

体育授業の進め方に関して学校で統一したもの(準備運動→モチちゃんパワーアップ運動→慣れの運動→共通課題の確認→主運動→関わり合い→まとめ)を実施している。

#### 2 授業内での補強運動(モチちゃんパワーアップ運動)の実施

準備運動後には本校で発案した補強運動を毎回実施している。

#### 3 学習カードの充実

学習カードは共通課題の確認と振り返りをどの授業でも行えるよう、統一した形式のもと、学年の発達の段階に応じた内容で作成している。また、体育の学習カードとして校内共有のファイルに保存し全学年で共有している。

学年	1	2	3	4	5	6
準備運動						
モチちゃんパワーアップ運動						
慣れの運動						
共通課題の確認						
主運動						
関わり合い						
まとめ						

#### 4 キラキラタイム(業間運動)での取組(運動に親しむ、様々な運動の動きの向上)

毎週火曜日と木曜日の30分休み(業間休み)に全校児童で運動場に出て、サーキット式のローテーション運動を3つ行っている。1つの運動に5分間



取り組み、熱心に活動している。

#### 5 各種大会の校内実施(投力の向上、体力の向上)

10月には、学級対抗によるドッジボール大会、11月には持久走大会、2月にはなわ跳び大会を実施する。楽しみながら投力や体力の向上に励んでいる。



#### 6 体力向上コンソーシアム運動の取組(地域連携、投力の向上、握力の向上)

地域の方と連携をして運動場で様々な運動(キャッチボールや的当て、竹馬など)に取り組んでいる。投力や握力の向上をねらいとした運動を行っており、地域の方にボールの投げ方や竹馬の乗り方を教えてもらい、楽しみながら運動に親しんでいる。



#### 7 外部講師との連携による投力向上

投力の向上を目指して年に3回、埼玉県を拠点とする日本女子プロ野球チームの選手を外部講師として招き、児童に投力の向上の指導をしてもらっている。

### ●エ夫したこと

児童が楽しんで運動できるように、一人一人を確実に伸ばすことを大切に取り組んできた。そのことにより、児童が主体的に運動に取り組むようになった。また、地域と取り組む体力向上コンソーシアムでは、児童がどの運動に取り組むか、児童自身に選択させるなど、進んで運動することを大切にしている。

### Check…取組成果の評価

新体力テストの結果から、昨年度は「A+B+C」の児童が85.9%だったのに対して、今年度は91.4%まで向上した。また、体力の課題であった「ボール投げ」においては、昨年度の県の平均得点を全ての学年で上回ることができた。

### Action…今後の課題

児童が健康・安全についての基礎的・基本的な内容を生活の中で実践的に活用できるようになることが課題である。また、新体力テストにおける「握力」の向上も課題である。

### ◎体力の向上の取組がもたらす波及効果

体力の向上によって、物事においてあきらめずに粘り強く取り組むことのできる児童の育成につなげていきたいと考える。またそれにより、学力の向上にもつなぐことができると考える。